

各地幼稚園便り

石川縣女師附屬幼稚園

作田 せつ

一、組數 一組

二、幼兒數 凡そ二十六名(但就學一年前の幼兒のみ)

三、年限 一年保育

四、職員 主任保母 一名

保母心得 二名(但本校高女卒業生を採用一ケ年

保育實習の後保母の無試験檢定

を受く。一ケ年にて解職。毎年

新しく採用)

一、保育料 一ケ月 壹圓

二、校友會費 一ケ月 五拾錢

一、保育の方針

1、先づ強い子に

日本の子供である

強い尊い日本の子供である

2、よく遊ぶ子に

力のありたけを出して

美しい思ひやりも持つて、

正しいことゝ云ふことが分りつゝ、

獨立への歩みが出るやうに

3、人に迷惑かけぬ子に

自分のことは自分で出来る子に

きまりを守られる子に

我儘をこらへられる子に

強い子に同情も出来る子に

そしてみんな仲よく

4、根氣のよい子に

みつめられる子に

考へやうとする子に

ちつと聽く子に

一、努力點

第一學期

團體生活に馴れさせる努力の一方に、一人一人の生活を躰ける

こと

1、天氣のよい日はきつと外へ

お日様と仲よしに

空氣とも仲よしに

花とも鳥とも仲よしに

2、姿勢のよい子はりつばな子

外へ、外へ

2、運動會だ

みんな元氣に

みんな上手に

みんな一しよに

僕が負けるとみんなも負ける

3、お仕事は一生懸命に

おしまひまで

重いものは力一杯

大きいものも力一杯

4、ことばをはつきり

お返事りつばに

お話も大きく

第三學期

寒さに耐える強い身體と心を。もう一年生、のよろこびを持たせて

1、雪だ、雪だ。外へ、外へ

頑張れ 強い子

雪に負けるな

2、姿勢を正しく

口は一の字

腰を伸ばして

3、もう一年生

腰をのばして

お口は一の字

お目々ははつちり

3、元氣で遊ぶ

鬼さんもいゝ子

ブランコ天まで

みんな仲よく

4、お行儀よく

宮城の遙拜はりつばに

お辭儀は丁寧

5、お約束も守つて

お靴は並べて

箱の中はきちん

6、御飯の時は

手を洗つて

兵隊さん有りがたう

お父様、お母様、戴きます

よくかんで

きれいに戴く

第二學期

一人一人の生活をより正しくさせると同時に、團體としての生活を整へさせて行く。

1、秋だ、秋だ。うんと強いからだに

大きくなつたよ

お辭儀もりつば

よくお始末出来るか

手も美しいか

鼻汁が出てゐないか

みんな仲よく遊べるか

一、母の會

國民學校と共に母の常會と云ふのがある。毎月一回開催せられる。但しその時の會の行事によつて幼稚園に關係なき場合は幼稚園の父兄を除くこともある。随つて又左記特別な事情ある時は幼稚園のみの母の會を開くことにしてゐる。

○四月 入園の時

保育方針を語る

○五月 辨當入用となる時

食事に關する躰について話し

給食のこと

其他幼兒食事状況を聴取

○八月 お休中

全兒の家庭訪問

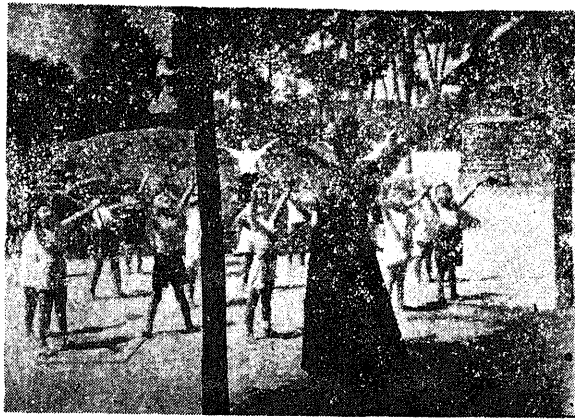
○十二月 特別個別の話し合

○二月 冬の保育見學

一、恵まれた環境

出で、は名園兼六の清風を眞面にうけ、これを上れば約四丁に

して護國の御社あり、嘗て戦勝を祈つて日參した御社であり、今大詔奉戴日には感謝の誠心をこゝに捧げてゐるのである。下れば古城大石垣の下、大ばこ根を張り、タンポ、飛び、一面の雑草と



陽を浴びて 折れそうな身體がある、丸々と肥つてゐるものもある。裸體で遊んだ後は藤棚の下へ集つて乾布摩擦、下手ながら擦つてゐるから面白い。乾布摩擦の時だけは何か大人になつたやうな氣がするらしい。手拭をきちんと畳ませるだけでもいゝ訓練である。

クローバ。時に毒草を知り、時に藥草を見出し、時に珍らしき蟲を追ふ。樹蔭亦暑さを癒して餘りあり。雑草に缺く校庭の短をしばし、此處に補ふて日がな一日。尾山の社頭亦六丁の内にあり、

園寶の山門も子供等の懐しいものゝ一つ。更に道を隔てれば大縣廳あり、前庭二本の椎の名木。實のる頃ともなれば子供達園の往き歸り忘れ得ぬ樂しみの一つ。

扱、園に入れば、藤蔭將に四十坪。或は盛夏を忘れしめ、或は又雨を覆ふ。初夏紫房蝻の群を呼んで翅音がまびすしく、やがて花散れば、陽光葉蔭を洩れて汗の子等をいたわる。御大典奉祝記念の築山は周圍約二十五米、校庭も此處だけは雜草を残して子供等の最もよき陣地。時に野菊の一輪も咲出で、床しい秋の風情を見せる。

園舎は校舎の一隅、天井も煤け、窓亦暗く、畫尙電燈の光を借るの舊態なれども、この惠まれたる大いなる環境に子等は唯すく〜と伸びるのである。國民學校と併置の有難きは、うさぎ、鶏、龜、鳩、金雞鳥、金魚等々年中飼育の動物を始め、四季折々の動植物、稻の稔りから、冬のねぎ島までその觀察環境の豊富なことである。今前庭の蓮昌には紅の蓮花一莖、今年珍らしく花をつけて子供達を驚かしてゐる。今夏は學校農園の馬鈴薯掘で子等を喜ばせた。秋は又さつまいも掘、里いも掘、やがて初冬白菜の收穫も手傳はせて貰ふつもりである。四坪餘りの幼稚園菜園は今トマトの盛り。胡瓜は七月中旬既にその收穫を終へて給食の食膳にお膳として、カボチャは今二個大きく熟しやうとしてゐる。二十日大根は五月から六月にかけて收穫し酢のものとして給食に。尙十個づゝばかりは家庭にも分つてこの大きな子等の誇りを喜んで貰つたものである。

豊かなる自然は貧しき保姆の力を補ふて子等は又すく〜と育つて行く。(一七、七、三〇)

山口縣 私立深川幼稚園

松岡唯介

一、創立 本園は昭和七年の六月の創立であります。爾來早くも十年を経過しました。併し今日まで貴誌に於て紹介された幼稚園に比較しますればまだ赤子であります。

園児が徒歩通園し得べき範圍には六部落と戸數五百がありますから園兒數も設備も微々たるものであります。

正明市に鐵道の通開しましてより十八年になります。開通以前は一面海、三面峯巒に包まれて世の文化と隔り、民衆も幼稚園は知つて居るが、保育事業保育會など、申しては一向通じないのであります。教員も父兄も幼兒教育には面を向けざる時代の設立でありましたから、創立にも發展にも非常な苦心がありました。

二、園の環境 約一〇アールの上田を理立て、園地としました。西及北は民家に隣接し、東及南は田圃を隔て、民屋があります。その屋根越二千メートルに山脈連延し、四季の眺望宜しく且つ夏は涼しくして舍内暑さを感じず、冬は暖かにして暖房の裝置も短期にてすみます。

三、園兒及職員 園兒は百名を上下して居ます。園長の私以外保姆としての女性四名居ります。私は園長でありながら他の社會的